

神戸に編入した頃の須磨

白砂青松で有名な須磨浦。夏は涼しく冬は温暖な気候。そして古来、都人も憧れた歴史文化に恵まれた地。近代では住宅地や保養地に最適な土地柄としても知られる。そんな須磨に、明治21年山陽鉄道須磨駅開業。以来、居留地で働く外国人、さらに旧三田藩主・九鬼隆輝氏や藤田伝三郎氏らが邸宅を構え、同30年代には、住友家須磨別邸・洋館が建つと、瀧川辨三、山下亀三郎、久原房之助、松方幸次郎、辰馬悦蔵、鈴木よねそして大谷光瑞氏らもこぞって邸宅を構えた。ついに大正3年には別荘文化の象徴・武庫離宮が造営されるに至る。第一次世界大戦による好景気で富を得た小曾根喜一郎、岡崎忠雄、内田信也各氏も邸宅を構えた。『武庫郡誌』によると、同4年、須磨の総人口14,924人に対し非本籍者の居住する割合は3割強を

占め、まさに別荘地の先駆け、財界人の憧れの地となっていく。同8年11月、陸軍大演習が当地で実施され、天皇は武庫離宮に、皇太子は住友家別邸にご宿泊。まさに「全国から期待される須磨」である。

これらを背景に、同9年4月1日、武庫郡須磨町は、近代的な街への発展を期待して神戸市に編入する。早速に6月、コレラが市内で大流行し、上水道がなかった須磨地区は、一時井戸を全部閉鎖したが、市より無料給水を受ける。編入の効果であろう。また同12年東西須磨公設市場が開設される。大正12年から天井川改修工事が行われていたが、同13年その跡地天井川沿い・須磨北町に須磨出張所を新築移転した。そして念願の上水道工事が完成し、さらに近代的な街へと発展する本格的な足掛かりとなっていく。

須磨のあゆみ100年

明治期

- 1886年(明治19年) 須磨10カ村(板宿村、大手村、西代村、池田村、妙法寺村、車村、白川村、東須磨村、西須磨村、多井畑村)が八部郡板宿村外九カ村戸長役場の統轄下に入る
- 1889年(明治22年) 八部郡須磨村と改称
- 1896年(明治29年) 八部郡、菟原郡、武庫郡が合併して兵庫県武庫郡となる
- 1912年(明治45年) 町制施行により須磨町となる

大正期・昭和初期

- 1920年(大正9年) **兵庫県武庫郡須磨町が神戸市に編入**
須磨町役場を神戸市役所須磨出張所と改称(月見山本町2丁目)
- 1924年(大正13年) 須磨地区水道工事完成
須磨出張所移転(須磨北町1丁目)
- 1925年(大正14年) 須磨百首かるた発売
- 1926年(大正15年・昭和元年) 天井川改修工事完成
- 1927年(昭和2年) 須磨天神橋跨線橋竣工
- 1930年(昭和5年) 市営バス運転開始(須磨駅前～六甲桜口間)
- 1931年(昭和6年) 神戸市を8区に分割、区制を実施(灘、葺合、神戸、湊東、湊、湊西、林田、須磨)
- 1935年(昭和10年) 須磨浦公園開園
- 1937年(昭和12年) 市電須磨線全線開通、市電板宿線開通
- 1938年(昭和13年) 阪神大水害おこる
- 1941年(昭和16年) 明石郡垂水町を神戸市に合併、須磨区に編入
- 1942年(昭和17年) **安徳帝内裏跡伝説地の石標**を西須磨協議会が建立
- 1945年(昭和20年) 神戸市8区を6区に再編成(灘、葺合、生田、兵庫、長田、須磨)
西神戸大空襲によりまちが焼失



須磨百首かるた



須磨浦公園開園時のようす



「安徳帝内裏跡伝説地」の石標



須磨区役所(東須磨南町1丁目)

昭和中期

- 1945年(昭和21年) 須磨区内の垂水地区を新たに「垂水区」とし市内7区に再編成
- 1948年(昭和23年) 須磨海浜公園付設海水浴場開設
- 1949年(昭和24年) 須磨区役所移転(東須磨南町1丁目)
- 1951年(昭和26年) 須磨海浜公園開園
- 1952年(昭和27年) 納涼花火大会を須磨海岸にて開催
- 1954年(昭和29年) 須磨観光協会創立
- 1955年(昭和30年) 須磨区連合婦人会結成

- 1956年(昭和31年) 須磨海浜公園野球場完成
- 1957年(昭和32年) 須磨水族館開館
須磨浦ロープウェイ架設
- 1958年(昭和33年) 須磨海浜公園内に須磨ビーチハウス開館
- 1959年(昭和34年) 須磨浦山上遊園開園
- 1961年(昭和36年) 須磨寺堂谷池々畔に温泉湧出「須磨温泉」と命名
- 1963年(昭和38年) 高倉山で須磨ベルトコンベアーの工事始まる
- 1966年(昭和41年) 須磨区役所移転(中島町1丁目1番地)
- 1967年(昭和42年) 須磨離宮公園開園

昭和後期

- 1970年(昭和45年) 須磨町神戸市編入50年
- 1971年(昭和46年) 第1回神戸まつり「須磨音楽の森」開催
- 1973年(昭和48年) 須磨海岸を美しくする運動推進協議会が発足
- 1974年(昭和49年) 須磨海釣り公園開園
- 1977年(昭和52年) 須磨区役所北須磨支所開設(市営地下鉄名谷駅舎2階)
菅の台・竜が台(垂水区)を須磨区に編入
市営地下鉄名谷・新長田間開通
- 1978年(昭和53年) 須磨ヨットハーバー開設
- 1980年(昭和55年) 須磨パティオ開業
第1回須磨大茶会開催
- 1981年(昭和56年) 須磨区民センター、須磨体育館開館
- 1984年(昭和59年) 須磨太鼓誕生

- 1985年(昭和60年) 神戸総合運動公園陸上競技場(ユニバー記念競技場)完成
神戸総合運動公園(垂水区)、神戸流通業務団地(西区)を須磨区に編入
グリーンエキスポ85開幕(神戸総合運動公園)
ユニバーシアード神戸大会開催
- 1986年(昭和61年) 須磨区の花を「コスモス」に決定
- 1987年(昭和62年) 須磨海浜水族園開園
- 1988年(昭和63年) 神戸総合運動公園野球場(グリーンスタジアム神戸)完成
- 1989年(昭和64年・平成元年) 須磨区役所北須磨支所移転(名谷センタービル)
市制100周年須磨区記念行事「須磨源平武者行列」開催

平成期

- 1991年(平成3年) 第1回須磨新能開催
- 1993年(平成5年) 神戸総合運動公園体育館(グリーンアリーナ神戸)完成
- 1995年(平成7年) 阪神・淡路大震災発生(1月17日)
須磨区内被害状況(死亡者 401人 全壊 7,696棟 半壊 5,608棟 全焼 407棟 半焼 9棟)
- 1996年(平成8年) 新春復興凧揚げ大会開催
震災1年復興記念植樹(下中島公園)
シーバル須磨開館
- 2006年(平成18年) 須磨区の木を「松」に決定
- 2008年(平成20年) 須磨海岸を守り育てる条例を施行
- 2012年(平成24年) 須磨区役所移転(市立大黒小学校跡地)
- 2013年(平成25年) 須磨区マスコットキャラクター「すまぼう」誕生
- 2014年(平成26年) 武庫離宮(現・須磨離宮公園)造営100年
- 2020年(令和2年) 須磨町神戸市編入100年を迎える
須磨海岸整備完了(遠浅化、遊歩道の整備など)



須磨浦山上遊園開園時の須磨浦公園駅



須磨離宮公園開園時のようす



グリーンエキスポ85の
人気者「金糸猴」



神戸総合運動公園陸上競技場完成



須磨海浜水族園開園



市制100周年「須磨源平武者行列」



新春復興凧揚げ大会



須磨区マスコットキャラクター
すまぼう